

5月 May

- 1 木 芸術文化交流館オープン（～11月5日）
- 2 金 ウエートトレーニング教室（18:30～20:30）
油谷体育館トレーニングセンター
- 3 土 憲法記念日
第34回北海道中学生バレーボール選抜優勝大会
（～5日）総合体育館ほか
- 4 日 みどりの日
- 5 月 こどもの日
- 6 火 振替休日
- 8 木 行政相談（8:30～12:00）市役所市民相談室
- 9 金 ウエートトレーニング教室（18:30～20:30）
油谷体育館トレーニングセンター
- 10 土 タオルケーキ作り（10:00～11:30）児童センター
- 11 日 全市一斉親子クリーン作戦（9:00）市内一円
- 13 火 ピヨピヨひろば（10:00～11:30）
子育て支援センター
☆芦別慈恵園えがお塾
ひぐらし研修センター、録幸研修センター
- 14 水 年金相談（10:30～15:00）商工会議所

- 16 金 子育てサロン（10:00～11:30）
道営住宅芦別ふれあいステーション
ウエートトレーニング教室（18:30～20:30）
油谷体育館トレーニングセンター
- 20 火 ピヨピヨひろば（10:00～11:30）
子育て支援センター
- 22 木 行政相談（8:30～12:00）市役所市民相談室
- 23 金 ウエートトレーニング教室（18:30～20:30）
油谷体育館トレーニングセンター
- 24 土 第11回芦別林産フェスティバル「元気森森まつり」
（～25日）道の駅スタープラザ芦別特設会場
プラ板でキーホルダーを作ろう
（10:00～11:30）児童センター
- 27 火 ピヨピヨひろば（10:00～11:30）
子育て支援センター
- 28 水 チャレンジデー2014（0:00～21:00）市内全域
- 29 木 夜間納税相談（17:15～20:00）市役所納税係
- 30 金 夜間納税相談（17:15～20:00）市役所納税係
ウエートトレーニング教室（18:30～20:30）
油谷体育館トレーニングセンター

6月 June

- 3 火 ピヨピヨひろば（10:00～11:30）
子育て支援センター
- 6 金 ウエートトレーニング教室（18:30～20:30）
油谷体育館トレーニングセンター
- 10 火 ピヨピヨひろば（10:00～11:30）
子育て支援センター

休日当番医

5月11日・18日・25日・6月1日・8日
（診療時間 8:30～17:00）
市立芦別病院（本町14番地 ☎22-2701）

休日 **歯科** 当番医（診療時間 9:00～12:00）

5月	11日	よりもと歯科医院（北4西3-7 ☎22-4618） 柳第4歯科医院（滝川市 ☎0125-22-1751）
	18日	とくだ歯科医院（滝川市 ☎0125-75-2056） 森歯科医院（砂川市 ☎0125-52-2789）
	25日	砂川ファミリー歯科（砂川市 ☎0125-54-2020） 伊東歯科医院（深川市 ☎0164-23-5501）
6月	1日	木村きよし歯科（深川市 ☎0164-23-3886） ひらやま歯科（新十津川町 ☎0125-72-2323）
	8日	塚本歯科医院（滝川市 ☎0125-23-2508） 深川第1病院歯科口腔外科（深川市 ☎0164-23-3516）

■芦別慈恵園えがお塾を開講します

芦別慈恵園では、今年度のえがお塾を開講します。今年はひぐらし教室と幸町教室に加えて、6月から西宮元教室が新たに始まり、町内会と協力して開催します。えがお塾では、学習療法を通して頭の健康のため、サロンで楽しく会話しながら元気に地域で暮らし続けるための支援をします。

◆ひぐらし・幸町教室
○開講日 5月13日(火) ○受講日 毎週火曜日
○会場 ひぐらし研修センター、録幸研修センター

◆西宮元教室
○開講日 6月5日(木) ○受講日 毎週木曜日、午後1時～3時
○会場 本町地区生活館

●詳細 芦別慈恵園（担当／青柳）☎22-2566

♥献血にご協力ください


期日	場所	時間
5月22日(木)	市役所庁舎前	10:00～11:00
	大旺鋼球製造(株)	11:30～12:30
	専門学校北日本自動車大学校	14:00～16:00

人口・世帯

平成26年4月1日現在の人口
カッコ内は前月比

人口	15,668人	(-135人)
男性	7,152人	(-73人)
女性	8,516人	(-62人)
世帯数	8,344世帯	(-54世帯)

軽自動車税の全期の
納期限は6月2日です



編集・発行／芦別市総務部企画課
〒075-8711 北海道芦別市北1条東1丁目3番地
TEL 0124-22-1111 FAX 0124-22-6006

芦別市は、環境保全に関する普及啓発のシンボルとして、エコマークを使用しています。この広報紙は、エコマーク認定の印刷用紙を使用しています。